

会社	会社名	エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社		
概要	従業員数	407名	業種	不動産業

1. ねらい

会社において、多様な人材の能力を最大限発揮させることにより、イノベーションの創出、生産性向上などの成果を上げることを目指す（ダイバーシティマネジメント）

2. 施策内容

① ワーク・ライフ・バランス推進施策

- ダイバーシティ推進室の設置
- 経営戦略とワークライフバランスに関するセミナー開催
- 在宅勤務制度の導入
- シフト勤務の弾力的運用（出社時刻を個人単位で柔軟に設定可能な仕組み）の導入
- 配偶者の転勤、育児・介護を理由に退職した社員の再雇用制度の導入
- 育児関連制度の充実（妊娠期間中の通勤緩和策、育児休職制度の拡充、短時間勤務制度導入による復職後の育児支援等）
- セクシャルハラスメント・パワーハラスメント防止に関する研修実施、社内WEBサイト掲載による事例紹介

② 長時間労働の削減、年次有給休暇取得の促進

- 時間外労働の自粛日（毎週水・金曜日、給与等支給日）を設定
- 夏季連続休暇計画的取得の実施

③ 男性の仕事と育児・子育て両立支援

- 育児関連パネルディスカッションセミナーへの、男性社員参加
- ファミリーデーの実施
- 経営幹部会議における、トップ自らの育児休暇取得促進のメッセージ発信

④ 仕事と介護の両立支援

- 法定を上回る介護休職・介護休暇制度等
- 在宅勤務制度の導入（介護理由でも利用可）
- 全社員アンケートによる、介護を抱える従業員の実態把握
- 社内WEBサイト掲載等による仕事と介護の両立支援に関する情報提供

3. 取組実績・効果

- 外部講師を招き、経営戦略とワークライフバランスセミナーを開催し、多数の社員が聴講し好評であった。
- 全社員研修において、「ダイバーシティ推進について」「人権研修（セクハラ・パワハラを含む）」をとりあげ、全社員に対して、ワークライフバランス等の重要性、セクハラ・パワハラ抑止の意識づけを行った。
- ファミリーデーを開催し、子どもが親の職場を訪問することにより親子間の相互理解が深まった。
また、社員の家族と触れ合うことにより社員間の相互理解が促進され、職場環境の改善につながった。
- 年次有給休暇の取得率は、管理者等を除くとほぼ100%である。
- 子育て世代等を中心に在宅勤務制度やシフト勤務の弾力的運用を活用
- 配偶者の転勤を理由に退職した社員の再雇用実施